

新型コロナウイルスに関する Q&A

(医療機関・検査機関の方向け)

令和3年1月12日時点版

問1 臨床経過はどのようなものですか？

問2 診断方法はなんですか？

問3 鑑別疾患はなんですか？

問4 自治体が衛生検査所などで行政検査を実施する場合、検査方法などの相談窓口はありますか？

問5 PCR検査等が実施できる場所や費用はどのようになっていますか。

問6 検査が陽性となった場合の行政の対応はなんですか。

問7 体調を崩した方が医療機関を受診する際に、現場の医師や看護師などはどのようなことに注意して診察を行うべきでしょうか？

問8 「無症状病原体保有者の感染可能期間」とは、陽性確定に係る検体採取日の2日前から入院、自宅や施設等待機開始までの間、とする。」とありますが、無症状病原体保有者が自宅療養を開始した場合、同居の家族等は濃厚接触者になりますか？

問9 感染の疑いがある患者を診察する際、医療者はどのような準備や装備が必要ですか？

問10 N95 マスクは再利用できますか？

問11 医療機関や検査機関で新型コロナウイルス感染症患者に診療を行った場合、濃厚接触者に該当しますか？

問12 医療機関や検査機関で新型コロナウイルス感染症患者に診療を行った後、就業を控えた方が良いですか？

問13 医療機関や検査機関で新型コロナウイルス感染症患者に診療を行った後、PCR検査を行ってもらえますか？

問14 医療機関や検査機関での診療により、感染してしまった場合はどうなりますか？

問15 最近発生している院内感染の事例にはどのようなものがありますか？

問16 院内感染防止のために特に気をつけることはありますか？

問17 新型コロナウイルスの抗原検査はどのような性能でどのような場合に有効か？

問18 新型コロナウイルスのワクチンの開発・使用開発はいつごろになりますか？

問 19 基礎疾患のある患者について、診療を行う上での留意点はありますか？

問 20 妊婦、授乳婦、小児患者について、診療を行う上での留意点はありますか。

問 21 新型コロナウイルスにより亡くなられた方及びその疑いがある方の遺体を搬送作業や火葬作業に従事する者に引き渡す際に、留意すべき事項はありますか。

問 22 イブプロフェンで新型コロナウイルス感染の症状が悪化するという話を聞きましたが、どのように考えればよいのでしょうか。

問 23 70%以下のエタノールを新型コロナウイルスの消毒に用いることは可能ですか。

問 24 重症度に応じた分類はありますか？

問 25 重症度分類で、中等症が2つに分かれているのはどうしてですか？

問 26 血栓症が起こりやすいと言われていますが、どのように対応すれば良いのでしょうか？

問 27 人工呼吸器管理に関する推奨はありますか？

問 28 ECMO（Extracorporeal membrane oxygenation, 体外式膜型人工肺）はどの程度効果的ですか？

問 29 新型コロナウイルス感染症に対する治療薬候補にはどんなものがありますか？

問 30 民間の検査機関だけでPCR検査を実施することはできますか？

問 31 診療所の医師が医師本人や自院のスタッフに対して、PCR等検査を行った場合は、自己診療又は自家診療（保険請求の制限対象）となり検査費用は全額自己負担となるのでしょうか。

問 1 臨床経過はどのようなものですか？

問 2 診断方法はなんですか？

問 3 鑑別疾患はなんですか？

問 4 自治体が衛生検査所などで行政検査を実施する場合、検査方法などの相談窓口はありますか？

問 5 PCR検査等が実施できる場所や費用はどのようになっていますか。

問 6 検査が陽性となった場合の行政の対応はなんですか。

問 7 体調を崩した方が医療機関を受診する際に、現場の医師や看護師などはどのようなことに注意して診察を行うべきでしょうか？

問 8 「無症状病原体保有者の感染可能期間」とは、陽性確定に係る検体採取日の 2 日前から入院、自宅や施設等待機開始までの間、とする。」とありますが、無症状病原体保有者が自宅療養を開始した場合、同居の家族等は濃厚接触者になりますか？

問 9 感染の疑いがある患者を診察する際、医療者はどのような準備や装備が必要ですか？

- I 標準予防策に加え、接触、飛沫予防策を行う
- II 診察室および入院病床は個室が望ましい
- III 診察室および入院病床は陰圧室である必要はないが、十分換気する
- IV 1) 上気道の検体採取を実施する場合（鼻咽頭ぬぐい液採取等）
サージカルマスク、眼の防護具（ゴーグル、フェイスシールド等）、長袖ガウン、手袋を装着する
- 2) エアロゾルが発生する可能性のある手技（気道吸引、気管内挿管、下気道検体採取等）
N95 マスク または それと同等のマスク、眼の防護具（ゴーグル、フェイスシールド等）、長袖ガウン、手袋を装着する
- V 患者の移動はサージカルマスクを着用の上、医学的に必要な目的に限定する
なお、職員（受付、案内係、警備員など）も標準予防策を遵守する。

・N95 マスク またはそれと同等のマスク の使用に際しては 事前の フィットテスト と着用時のシールチェックを行い、マスク、眼の防護具（ゴーグル、フェイスシールド等）、長袖ガウン、手袋などの 個人防護具（PPE を脱ぐ際の手順に習熟し、汚染された PPE により環境を汚染しないように注意する。手指衛生を実施しないまま、自身の眼や顔面を触れないようにする。

・手袋、帽子、長袖ガウン、覆布（ドレープ）、機器や患者環境の被覆材などには、可能なかぎり

使い捨て製品を使用する。使用後は、専用の感染性廃棄物用容器に密閉するか、あるいはプラスチック袋に二重に密閉したうえで、外袋表面を清拭消毒して患者環境（病室など）より持ち出し、焼却処理する。

参考）新型コロナウイルス感染症に対する感染管理

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9310-2019-ncov-01.html>

手洗いなどの衛生対策を心がけてください。手などの皮膚の消毒を行う場合には、消毒用アルコール（70％）を、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（0.1％）、次亜塩素酸水（有効塩素濃度 80ppm 以上（ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを水に溶かした製品の場合は 100ppm 以上））、有機物が存在する環境下では亜塩素酸水（排泄物やおう吐物等の汚物がある場合は遊離塩素濃度 100ppm(100mg/L)以上)が有効であることが分かっています。また、医療器具の消毒にはグルタラール、フタラール、過酢酸も有効です。この場合は、使用時の留意事項を遵守してください。検体を扱う際にも、患者の取り扱い時と同様の感染対策をお願いします。

詳しくは国立感染症研究所の HP「新型コロナウイルス（2019-nCoV）」に掲載の関連するガイドダンス及び厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ホームページ「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」をご参照ください。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

[ページの先頭へ戻る](#)

※これは、令和3年1月12日 厚生省ホームページ

[新型コロナウイルスに関する Q&A（医療機関・検査機関の方向け）（mhlw.go.jp）](#)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_0004.html

より、三慶株式会社が掲載箇所を一部抜粋したものです。